

一九七七年十一月三日第3種郵便物認可
二〇二二年八月二十一日発行（毎月十八回、一、三、五、六、七の日発行）
SSKP通巻第七九五八号

Aikoh No.77

福祉社会への道を照らす 愛の灯台
～一隅を照らす実践、地域への貢献～

CONTENTS

特集

誰もが読書ができる社会を目指して

NEW!

サトシの健康GOODだぜ！

ともいきGO

2021年度事業報告・決算報告

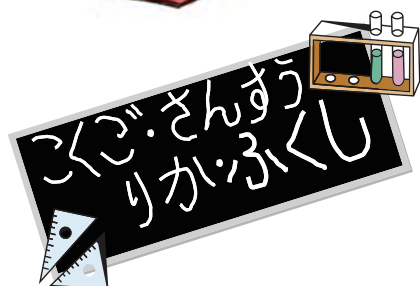
キラツと福祉職員～ルミエール編～

輝け！就労支援施設

日誌抄録・感謝のコーナー



誰もが読書できる 社会を目指して



福祉の時間です。

みなさん「読書バリアフリー法」をご存知ですか？「読書バリアフリー法」は、障害の有無に関わらず誰もが読書を楽しめるようにするための法律です。

「誰もが読書のできる社会を目指して」

今回は、読書バリアフリー法やデジ書など読書に関することをご紹介しますと思います。



読書バリアフリー法って？

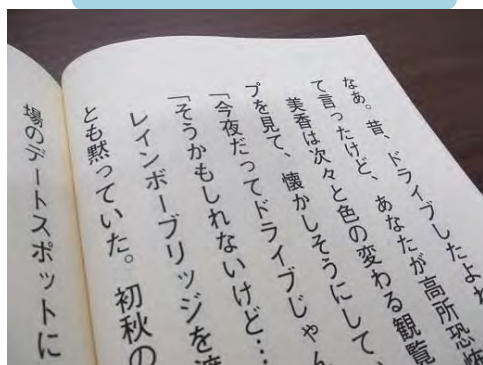
正式名称は「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」。

障害の有無に関わらず、すべての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられるようにするための法律です。さまざまな障害のある方が、利用しやすい形式で本の内容にアクセスできるようにすることを目指しています。

出典：文部科学省HP

読書を支援する機器や本

大活字本



通常よりも大きな字が用いられた本。通常の本の文字は9～10ポイント程度の大きさですが、大活字本は12～22ポイントの見やすい書体が使用されています。



拡大読書器



五十音の指点字を記載しているA4用紙を拡大中！前の画面に大きく表示されます！

点字絵本



文字は点字で表示。絵も浮かび上がっており、手で触れば絵の形が分かるようになっています。

愛光のお隣にある佐倉南図書館でデージー図書の貸し出しがはじまります！

佐倉市立図書館が、デージー図書を貸し出すことになったきっかけが、**読書バリアフリー法**です。

障害の有無に関わらず、それぞれが自分に合った方法で読書を楽しむことが出来るようにという思いで取り組んでいます。

デージー図書は、視覚障害のある人や文字が読みにくい人など誰でも借りることができます。貸出方法など詳しいことは佐倉南図書館（TEL043-483-3000）へお問い合わせください。



貸し出しにあたって、リホープの利用者がテスト運用として先行利用させて頂きました。



プレクストーク

CD型のデージー図書を聴くための専用再生機です。



対面朗読も徐々にスタート！

対面朗読とは、文字（墨字）で書かれた資料を読むことが困難な方に、図書館内で音訳者が対面で「目の代わり」となって指定された資料を読むサービスです。その日の新聞、本など…読んで欲しいものを読んでもらえます。



対面朗読
テスト体験中

コロナ禍で
一時中止に

まだテスト運用中ですが、
リモートで復活予定！
時間は40分間🕒



対面朗読は、現在リホープでテスト運用中！

リホープでは、目が不自由になり昔好きだった読書ができなくなってしまった方、電車の時刻表が好きで読んでほしい方など、今後対面朗読が実施されるのを楽しみにしています。

詳しくは佐倉市立図書館のサイトにアップされますので、そちらをご覧ください！





音訳ボランティアグループ ～佐倉市こおろぎの会～

今年で結成49年目を迎える音訳ボランティアサークル「佐倉市こおろぎの会」。佐倉市の広報などをCDに録音し、市内在住の視覚障害の方にお届けしています。録音作業をしている現場におじゃまし、ボランティア会員の皆様にお話を伺いました。

1 1973年7月12日に発足。物陰で鳴いている「こおろぎ」のように目立たずささやかでいい、そんな気持ちから名付けられました。発足のきっかけは同年当会の発起人である内田正恵さんがアキレス腱を断裂し、術後のリハビリで目の不自由な方にマッサージでお世話になったことから始まりました。その方の奥様に「この本が面白かったわよ」と話をしたところ「読んでくれない？」と頼まれました。その一言から点字図書館での勉強、朗読グループ作り、録音テープ作りへと発展し、こおろぎの会が誕生したそうです。



広報録音中の風景。現在唯一の男性ボランティア成田さん。深みのあるダンディな声にファンが多いそうです。



後列左から園原さん・廣田さん・和泉さん・前列成田さん。現在はグループを分けて録音を行っています。

情 報の8割は視覚からと言われており、見えにくい方にとって、音声はとても有効な情報手段です。音声化されることで、諦めていた読書や映画も楽しむことができます。元々小学校で読み聞かせボランティアをしていた前会長の和泉さん。読む力が誰かの役に立てれば。ガイドヘルパーの仕事で定年で辞めた後、視覚障害の方に携われないか。声で勝負、定年はありません。様々な思いが現在の活動に繋がっています。リスナーからはおまけで録音しているちょっとした地域の情報、「市内に美味しいメロンパン屋が出来ました。」そんな情報が喜ばれています。こうした地域に密着した情報はこおろぎの会ならではの。視覚障害の方にホットな情報を声でお届けできる、そんなやりがいあふれるボランティア活動です。

現在、音訳ボランティア、聞き手のリスナーがともに減少しています。高齢化社会、見えにくさでお困りの方は増えており、ニーズはあるはずです。「こうほう佐倉」や様々な書籍を音声にし、デイジー図書（※今月号の3ページで紹介されています）でお届けしています。音訳ボランティアも募集中です。ちょっと空いた時間を、誰かの為に役立ててみませんか？

問い合わせ先
佐倉市社会福祉協議会 ボランティアセンター
電話 (043) 484-6198

新連載



サトシの健康 Good だぜ!

自粛生活が続き、読書やテレビ、パソコン、スマートフォン、テレビゲームの時間が増え、長時間、同じ姿勢でいると体がこわばってきませんか。今号より佐倉市南部地域包括支援センターで社会福祉士として働きつつ、理学療法士の資格も持つ異色の職員、並木智志相談員の健康Goodになるストレッチを紹介いたします。

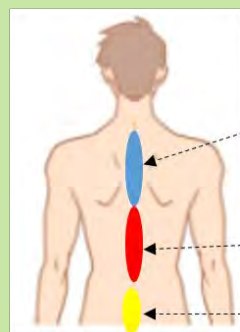
～自律神経と背骨の関係の巻～

自律神経は臓器などにつながりその働きを調整しています。臓器に負担がかかるとそれに対応した背中のエリアに負担が生じ筋肉や関節が硬くなってしまいます。

右の図の部位が痛むことはありませんか?そのような時は、図に表記されているようなストレスが日々生じている可能性があります。

今回は睡眠不足やストレスの影響を受けやすい背中の上部についてチェック方法や対処方法をお教えします。

原因別 背中の硬くなりやすいエリア



睡眠不足
精神的
ストレス

内臓の
疲れ

運動不足

【チェック方法】



腰の後ろで手を組んで額を膝につけます。
両手をゆっくり天井の方に上げていき、無理なくどこまで上がるかチェックします。
90° まで上がれば良好です。
*お腹はももにつけないこと。

【改・善・体・操】



横向きに寝て膝と股関節を直角に曲げます
上の手を後頭部を持っていきます。



ゆっくり体をねじります。
体をねじったまま
10秒数えます。
*呼吸はとめないように!

左右ともに10秒カウントを10セット程取り組むことで、背中の症状が改善されます!



YouTube



・チェック方法、改善体操を動画で紹介しております!
ぜひ左のQRコードからcheckしてください!
※お手持ちのスマートフォンやタブレットのカメラ機能をかざすことで鑑賞することができます!



2021年度 事業報告

《法人本部》

本部

当年度より、第Ⅳ期中期経営計画（2021年度～2023年度）を開始した。3年間の法人スローガンは、『法人の進化と地域の回復』である。中期経営計画は「自立経営」「ガバナンスの強化」「地域福祉」が3つの柱となっている。計画を進めていくために、7月より法人の組織体制を変更し、あらたに、「佐倉圏域事業部」「健康管理部」を創設した。また、中期経営計画の進捗状況を検証し、必要な見直しをするため、各事業部での実績会議および業務執行会議を毎月開催した。



《健康管理部》

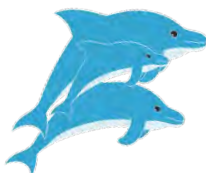
健康管理部

当年度の7月より健康管理部が発足した。就業場所で分けるのではなく、看護師（医療事務員）、栄養士、マッサージ師という愛光内の健康に関する専門職が集まった部署である。目的として、今まで以上に法人内に於ける多職種連携を図りご利用者の生活支援や職員のメンタルヘルスに貢献しようというものである。当年度よりマッサージ師が新たに1名加わり、はちす苑のデイサービス利用者と職員の福利厚生のための施術を行い、ご利用者からは好評を得ている。今後は、愛光健康堂での施術も予定している。

《高齢者支援事業部》

はちす苑

当年度も新型コロナウイルス感染症の関係で、感染症対策・予防に追われる年度であった。しかし、新型コロナウイルスの特徴など把握することで、極端な自粛は行わず「WITH コロナ」でできることを考え、工夫することで「楽しみ・レクリエーション」の提供に努力した。入居者・利用者だけでなく、職員もプライベートを含めて自粛に近い生活を送る形となり、ストレスなど大きな負担がのしかかった。このような状況においても、施設内に新型コロナウイルスなど感染症が広がらなかったのは、職員の仕事に対する責任感の強さと感染症対策をはじめとした日々の努力によるものである。



《障害者支援事業部》

ルミエール（障害者支援施設）

「ともに支えあう 笑顔で、やさしく、ていねいな支援の実践」をスローガンとし、特にチームワークについて力を入れた。当期も新型コロナウイルス感染症対策と並行し運営することとなった。特に新型コロナウイルス陽性者発生の対応には事前にシミュレートしていたこともあり、感染発生時にはスムーズに対処し感染拡大を防ぐことができた。

めいわ（障害者支援施設）

【入所部】

「地域とともに歩む利用者サービスを！」をスローガンとし、新型コロナウイルス感染症対策と並行し運営。年間を通し外出や帰省・面会等制約を多くせざるを得ない分、施設内の生活を楽しんでいただけるよう感染対策に配慮しつつ食事会や行事、年末年始イベント等を企画した。

【通所部（根郷通所センター）】

前年度に引き続き新型コロナウイルスに振り回される1年であった。“職員、利用者とともに濃厚接触者となることや法人内にある入所施設のショートステイを利用した先でコロナが発生”するなど、いつクラスターが発生してもおかしくない状態であった。ボランティアの受入れや余暇活動を大幅に縮小しての活動であったが、作業を中心にいつも通り笑顔と活気が溢れていた。



リホープ（障害者支援施設）

当年度のスローガンは、前年度に続き「高齢化対応・意思決定支援の強化」とした。平均年齢が62歳となり高齢化が加速している。令和3年5月に利用者1名が介護度が高くなりにはちす苑へ異動となった。地域移行を目指す利用者が1名おり、年度当初よりご家族を交え担当者会議を数回開催すると共に、利用者が移行したい地域の住宅や作業所の見学も実施したことで担当職員のスキルアップにも繋がったと思う。

山王の家（障害者グループホーム）

スローガンは、「地域の中で、自分らしい生活を」である。戦略目標として掲げた「地域で普通に暮らすことができる」について、山王夏祭り等の地域の行事が全て中止となったため、山王の家での自粛生活が強いられた。不要不急の外出自粛が叫ばれている中、毎週末帰省している利用者、就労・通所している利用者については、交通機関の使用があるため、出入りの際は消毒を徹底した。

《佐倉圏域事業部》

佐倉市よもぎの園（就労継続支援B型）

当年度のスローガンは「はたらいて笑顔に そして新しい挑戦！」とし、受注作業として新たにパネル洗浄の仕事を導入し、利用者の能力に合った作業方法の模索と作業効率の向上を目指して皆で意見を出し合い取り組みを進めた。新規作業導入に新しい自主生産品への取り組みなど、当年度も「新しい挑戦」を意識して取り組むことができた。毎月の食事会や季節行事の実施、家族会、地区社協との連携等ではできる範囲のことを行った。

ワークショップかぶらぎ

（就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練））

当年度のスローガンは「地域で『働く』・『生活する（いきる）』を支える」であった。コロナ禍のためカフェの一般開放はできなかった。城の辺地区社会福祉協議会の買い物支援への車両貸し出しについては、地区社協がコロナ禍で中止した期間以外は定期的に貸し出しを行った。またその繋がりから印刷等の作業依頼にも繋がっている。

ジョーの家（障害者グループホーム）

当年度のスローガンは「利用者の変化に気づき、生活を共に考える」であった。「職員体制の構築」について、必要な支援や時間帯についての精査を行い、1 月よりワークショップかぶらぎの職員が支援に入る体制を作った。まずは利用者と職員の関係を構築することを重視し、その後再度支援内容や課題の見直しを図りたい。



《地域福祉事業部》

南部児童センター・学童保育所

「地域子育て支援 ～地域づくりはこころの元気づくり～」とスローガンを掲げた児童センター・学童保育所は新型コロナウイルス感染予防の最善の対策を講じつつ、地域の子どもの健全育成を図る社会的使命を継続できるよう事業に取り組んできた。児童センターでの企画は、安全に楽しくできる策を模索し、コロナ禍前の事業もやり方を変えることで復活させた。学童保育所においても子どもたちから「密」にならない、触らないあそびなどの提案があった際には子どもの意見に耳を傾け、一緒に考え、子どもたちのものとしていく建設的な取り組みを実施した。

総合相談センター

（佐倉市障害者生活支援センターアシスト・佐倉市南部地域包括支援センター）

スローガンを前年度に引き続き、「つなげよう！広げよう！ともいきの輪」とした。コロナ禍の中での地域とのつながりや、個別支援を地域の中で考えることを意識した1 年であった。アシストの相談件数の8 割が精神疾患のある方からの相談であることから、職員の相談支援の質の向上と、担当職員が1 人で抱え込むことがないように事例検討会を実施した。地域包括支援センターでは、佐倉市の地域ケア会議の進め方が変更となり、各包括で自立支援型地域ケア個別会議を年10 件、地域ケア圏域推進会議を年2 回が定められた。個別支援から地域課題を考える意識を持つようになり、さらに圏域推進会議では専門職と地域の方が一緒になって意見交換を行う場となった。



佐倉市南部地域福祉センター

コロナ禍の中、改めて地域福祉センターの役割と使命として、スローガンを『地域の方が生きがいを持って利用できる地域福祉の拠点の構築』としたが、コロナの影響で事業、イベント等実施できなかったものがあつた。感染症対策としては、前年度に引き続き利用制限をするとともに、館内の消毒を徹底し、感染リスクの回避に努めた。本年度も、年間80 台の運行を予定している大型バス運行業務が、コロナの関係で2 台のみの運行となり、当業務の予算執行を施設の修繕に利用することができたため、今までできていなかった修繕関係に充てることができた。



2021年度 決算報告

法人単位資金収支計算書

(自)令和 3 年 4 月 1 日(至)令和 4 年 3 月 31 日

第一号第一様式

(単位:円)				
勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
収入 事業活動による収入 支出	介護保険事業収入	477,752,231	476,570,216	1,182,013
	老人福祉事業収入	41,708,630	41,712,965	△4,335
	保育事業収入	151,543,265	153,373,347	△1,830,082
	就労支援事業収入	15,976,892	12,967,906	3,008,986
	障害福祉サービス等事業収入	1,331,074,862	1,322,206,973	8,867,889
	経常経費寄附金収入	795,600	795,600	0
	受取利息配当金収入	33,174	9,176	23,998
	その他の収入	16,652,410	19,238,694	△2,586,284
	事業活動収入計(1)	2,035,537,064	2,026,874,877	8,662,187
	人件費支出	1,408,178,856	1,376,782,011	31,396,845
支出 事業活動による支出	事業費支出	280,314,830	262,736,374	17,578,456
	事務費支出	275,829,073	254,621,995	21,207,078
	就労支援事業支出	15,976,892	13,414,038	2,562,854
	支払利息支出	2,834	2,834	0
	その他の支出	5,563,797	5,212,150	351,647
	事業活動支出計(2)	1,989,886,282	1,912,769,402	73,096,880
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	49,670,782	114,105,475	△64,434,693
	施設整備等補助金収入	1,029,000	1,151,100	△122,100
	施設整備等収入計(4)	1,029,000	1,151,100	△122,100
	固定資産取得支出	50,071,272	49,192,184	879,088
収入 施設整備等による収入 支出	ファイナンス・リース債務の返済支出	7,518,530	7,760,082	△241,552
	施設整備等支出計(5)	57,589,802	56,952,266	637,536
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△56,560,802	△55,801,166	△759,636
	積立資産取崩収入	65,886,540	58,895,956	6,990,584
	その他の活動収入計(7)	65,886,540	58,895,956	6,990,584
	積立資産支出	14,861,875	14,706,875	155,000
	その他の活動による支出	37,615,095	37,573,121	41,974
	その他の活動支出計(8)	52,476,970	52,279,996	196,974
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	13,409,570	6,615,960	6,793,610
	子備費支出(10)	0	—	0
収入 その他の活動による収入 支出	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)+(10)	6,519,550	64,920,269	△58,400,719
	前期末支払資金残高(12)	1,686,073,741	1,686,073,741	0
	当期末支払資金残高(11)+(12)	1,692,593,291	1,750,994,010	△58,400,719
	施設整備等補助金収入	1,029,000	1,151,100	△122,100
	施設整備等収入計(4)	1,029,000	1,151,100	△122,100
	固定資産取得支出	50,071,272	49,192,184	879,088
	ファイナンス・リース債務の返済支出	7,518,530	7,760,082	△241,552
	施設整備等支出計(5)	57,589,802	56,952,266	637,536
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△56,560,802	△55,801,166	△759,636
	積立資産取崩収入	65,886,540	58,895,956	6,990,584

法人単位事業活動計算書

(自)令和 3 年 4 月 1 日(至)令和 4 年 3 月 31 日

第二号第一様式

(単位:円)				
勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収入 事業活動による収入 支出	介護保険事業収益	476,570,216	482,772,263	△6,202,047
	老人福祉事業収益	41,712,965	38,665,181	3,047,784
	保育事業収益	153,373,347	147,695,227	5,678,120
	就労支援事業収益	12,967,906	14,001,149	△1,033,243
	障害福祉サービス等事業収益	1,322,206,973	1,311,311,621	10,895,352
	その他の事業収益	795,600	1,588,891	△793,291
	経常経費寄附金収益	6,466,067	739,817	5,726,250
	その他の収益	2,014,699,074	1,996,977,421	17,721,653
	サービス活動収益計(1)	2,014,699,074	1,996,977,421	17,721,653
	人件費	1,386,448,391	1,370,790,071	15,658,320
支出 事業活動による支出	事業費	263,735,452	261,212,250	2,523,202
	事務費	254,667,139	244,031,448	10,635,691
	就労支援事業費用	13,871,734	15,090,389	△1,178,644
	国庫補助金等特別積立金取崩額	179,146,307	178,942,348	203,959
	サービス活動費用計(2)	50,458,900	50,166,624	△292,276
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	2,047,110,123	2,019,860,473	27,249,650
	受取利息配当金収益	9,176	13,456	△4,280
	その他のサービス活動外収益	12,772,627	12,420,393	352,234
	サービス活動外収益計(4)	12,781,803	12,433,849	347,954
	支払利息	2,834	19,739	△16,905
収入 施設整備等による収入 支出	その他のサービス活動外費用	5,013,050	3,723,865	1,289,185
	サービス活動外費用計(5)	5,015,884	3,743,604	1,272,280
	サービス活動増減差額(6)=(4)-(5)	7,765,919	8,690,245	△924,326
	施設整備等補助金収益	△25,551,130	△14,192,807	△11,358,323
	固定資産売却益	848,317	49,999	△798,318
	その他の特別収益	1,151,100	4,425,620	△3,274,520
	特別収益計(8)	1,999,417	4,515,619	△2,516,202
	固定資産売却損・処分損	253,195	12	253,183
	国庫補助金等特別積立金積立額	1,151,100	4,425,620	△3,274,520
	特別費用計(9)	1,404,295	4,425,632	△3,021,337
収入 その他の活動による収入 支出	特別増減差額(10)=(8)-(9)	595,122	89,987	505,135
	施設前当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△24,865,008	△14,102,829	△10,762,179
	法人税、住民税及び事業税(12)	199,100	436,800	△237,700
	当期活動増減差額(13)=(11)-(12)	△25,064,108	△14,539,629	△10,524,479
	前期繰越活動増減差額(14)	5,997,626,237	5,964,776,360	32,849,877
	当期繰越活動増減差額(15)=(13)+(14)	5,972,562,129	5,950,236,740	22,325,389
	繰越活動増減差額(16)	5,972,562,129	5,950,236,740	22,325,389
	その他の積立金取崩額(17)	51,610,417	47,389,497	4,220,920
	その他の積立金積立額(18)	—	—	—
	次期繰越活動増減差額(19)=(15)+(16)+(17)+(18)	6,024,181,546	5,997,626,237	26,555,309

法人単位貸借対照表

令和 4 年 3 月 31 日現在

第三号第一様式

(単位:円)			
資産の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動資産	1,859,299,040	1,809,067,310	50,231,730
現金預金	1,518,453,186	1,471,906,972	46,546,214
事業未収金	325,632,946	323,324,130	2,308,816
未収補助金	7,481,603	5,956,898	1,524,705
貯蔵品	1,588,397	2,014,653	△426,256
原材料	0	17,055	△17,055
立替金	5,329,253	5,130,913	198,340
前払費用	1,181,155	1,084,189	96,966
徴収不能引当金	△367,500	△367,500	0
固定資産	6,008,153,007	6,180,819,677	△172,666,670
基本財産	5,000,117,539	5,132,169,725	△132,052,186
土地	3,186,265,828	3,186,265,828	0
建物	1,813,851,711	1,945,903,897	△132,052,186
その他の固定資産	1,008,035,468	1,048,649,952	△40,614,484
建物	3,249,090	3,664,377	△415,287
構築物	10,462,719	11,878,314	△1,415,595
機械及び装置	6,802,277	8,069,083	△1,266,806
車両運搬具	15,771	208,182	△192,411
器具及び備品	46,509,016	48,605,788	△2,096,772
有形形資産	16,521,518	19,144,822	△2,623,304
権利	2,404,335	2,440,515	△36,180
ソフトウェア	20,217,259	5,710,645	14,506,614
無形リース資産	87,480	860,112	△772,632
退職給付引当資産	171,566,310	165,298,375	6,267,935
人件費積立資産	63,000,000	63,000,000	0
修繕積立資産	179,466,000	179,466,000	0
備品等購入積立資産	33,421,760	33,421,760	0
施設整備積立資産	450,854,981	502,465,398	△51,610,417
工賃変動積立資産	1,863,068	1,863,068	0
設備等整備積立資産	435,825	435,825	0
差入保証金	412,800	382,000	30,800
長期前払費用	745,259	1,735,688	△990,429
資産の部合計	7,867,452,047	7,989,886,987	△122,434,940
負債の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動負債	238,643,970	282,466,166	△43,822,196
事業未払金	94,166,325	108,069,645	△13,903,320
1年以内返済予定リース債務	6,146,118	6,647,662	△501,544
1年以内支払予定長期未払金	6,594,316	37,542,321	△30,948,005
預り金	146,956	7,550	139,406
職員預り金	13,368,820	14,222,597	△853,777
賞与引当金	118,221,435	115,976,391	2,245,044
固定負債	182,629,190	186,718,426	△4,089,236
リース債務	10,462,880	13,377,418	△2,914,538
退職給付引当金	171,566,310	165,298,375	6,267,935
長期未払金	0	7,442,633	△7,442,633
長期預り金	600,000	600,000	0
負債の部合計	421,273,160	469,184,592	△47,911,432
純資産の部			
	当年度末	前年度末	増減
基本金	1,306,000	1,306,000	0
国庫補助金等特別積立金	691,749,707	741,118,107	△49,368,400
その他の積立金	729,041,634	780,652,051	△51,610,417
人件費積立金	63,000,000	63,000,000	0
修繕積立金	179,466,000	179,466,000	0
備品等購入積立金	33,421,760	33,421,760	0
施設整備積立金	450,854,981	502,465,398	△51,610,417
工賃変動積立金	1,863,068	1,863,068	0
設備等整備積立金	435,825	435,825	0
次期繰越活動増減差額	6,024,081,546	5,997,626,237	26,455,309
(うち当期活動増減差額)	△25,155,108	△14,539,620	△10,615,488
純資産の部合計	7,446,178,887	7,520,702,395	△74,523,508
負債及び純資産の部合計	7,867,452,047	7,989,886,987	△122,434,940

★キラッと★ 福祉職員 ～ルミエール編～

このコーナーは…

魅力あふれる福祉のお仕事をさらに詳しくお伝えするべく、各事業ごとにフォーカスしてお仕事内容をご紹介します。

重度～最重度領域の知的障害と視覚障害を併せ持つ方（盲重複障害者）が対象の入所施設です。施設名はフランス語で“光”を意味し、「ご利用者一人ひとりに自分らしく光り輝ける人生を送ってほしい」という想いが込められています。

ルミエールでは、利用者様が安心・安全な日常生活を送れるよう支援、介助を行いながら、日々楽しい行事を企画しています。新年会、運動会、秋まつり、クリスマス会、バレンタインなどなど。法人ホームページにて、ケアスタッフがブログを通して様子を紹介しています。ぜひご覧ください！



2022年7月
ブログより

一緒にエイッ！



2021年11月
ブログより

パン食い競争 開戦！

ルミエールでは3名のブログ担当が交代でブログを作成しています。日々の生活や、季節の行事などの活動はもちろん、ちょっとした微笑ましいことをご紹介していきます。コロナ禍でなかなか面会もできず、御家族も心配かと思いますが、僕たちが利用者皆さんの楽しい生活を紹介していきますね。ぜひ今後の更新をお楽しみください！！



2021年6月
ブログより

ルミエール五輪スポーツ大会



輝け！ 就労支援施設 ～いんば学舎・オソロク倶楽部～

日々奮闘をし続けている就労支援事業にスポットをあて、エールを込めたこの企画。広報誌「Aikoh72号」でご紹介させていただいた就労支援施設の特集第2弾。

今回は、県内でも有名な『いんば学舎・オソロク倶楽部』取材し、その魅力をご紹介します！

～みんなのやりたいを大事に～

社会福祉法人印旛福祉会 いんば学舎・オソロク倶楽部では、障がいのある方の就労支援として、**ピッツァレストラン、パン工房、食品加工、農作業**に取り組んでいます。

元々いんば学舎は農業を生活づくりの軸にしておりましたので、更に一歩前進して取れた野菜を使って地域交流ができないかと考え、2007年10月**ナポリ風ピッツァ**がメインのレストランを始めることになりました。レストランではその日収穫した取れた野菜や、生みだての玉子を使用し、地産地消にこだわりぬいたメニューを楽しむことができます。

オソロク倶楽部のメンバー（利用者）の皆さんの活動は、**やりたい仕事を選ぶことができる希望制**です。レストランのホールで働く方、畑作業や食品加工で働く方、アート制作を通して活躍される方などさまざまです。特にレストランでの経験は、地域での役割や接点を持つことができますとても魅力あふれるお仕事の一つです。

販売活動で得られた利益は、オソロク倶楽部のメンバー（利用者）に工賃として支給されます。そしてレストランでの経験を通して、将来的に企業に就職を希望される方には、企業実習の支援、就職後は職場への定着するまでの支援を行っています。



- 看板と外観。左側がパン工房オソロク倶楽部、右側がレストランPIZZERIA OSOROKU。お洒落なロジ風の建物
- 一番人気の自家製ベーコンのマルゲリータ 番号札にあるかわいいイラストはメンバーが描いたもの
- メニュー一覧（こちらのイラストもメンバー（利用者さん）が描いたものです。）



①10年以上働いているベテランメンバーの橋本さん。
②④メンバーが注文を受け取り、テーブルまで運んでくれます。
③⑤取材の際には、梨とチーズのピッツァ（期間限定メニュー）とカルボナーラ、カステラ（ラズベリーソース添え）をいただきました。ピッツァは外カリッ中ふわっ！パスタはいんば学舎でとれた卵を使った濃厚パスタ。どれも絶品です。ピッツァは生地が無くなり次第終了です。お早めにお求めください。

施設詳細

いんば学舎・オソロク倶楽部

〒270-1337 千葉県印西市草深485-3

電話番号:0476-36-7555

FAX番号:0476-46-0069

定員

【就労移行支援】6名【就労継続支援B型】34名

対象:18歳以上の障がいを持つ人

（ 営業時間 ）

○ピザレストラン

（月～土）11:00～15:00

※ラストオーダー14:30

○パン工房

（月～土）11:00～16:00

※売り切れ次第閉店



2022(令和4)年度 会員募集

皆様のご賛同により、愛光の展開する福祉事業を支援し、地域社会の福祉文化向上の推進と地域貢献活動を目的に活動しております。新規会員、及びご登録会員の皆様のご入会を心よりお待ちしております。

会期：2022年7月1日～2023年6月30日
新年度 2022年度の会員を募集しております。



ギャラリーあいこう各種展示会



第29回根郷ガーデンカップ助成



佐倉市南部地域小学校5校書き初め展



佐倉南図書館花壇整備助成



愛光後援会 愛の灯台基金

《お問い合わせ先》愛の灯台基金事務局 043-484-6398

年会費

個人会員 1,000円(1口) 団体会員 10,000円(1口)

※口数には上限はありません。振込用紙をご利用ください。

感謝のコーナー (2021.11 ~ 2022.6)

法人ならびに各施設に対して、ご芳志をいただいた皆様です。厚く御礼申し上げます。勝手ながら敬称を省略させていただきます。(順不同)

【個人】太田正枝、亀山浩代、中川勝、溝口よね、飯泉博子、矢野光子、吉江忠英、和田春子、菊池良男、吉成庸子
坂本文雄、廣瀬千歳、幸田ひろみ、斎藤與助

【団体】大和証券株式会社(船橋支店)、佐倉市社会福祉協議会

日誌抄録

(2021.11 ~ 2022.6)

ル：ルミエール
根：根郷通所センター
よ：よもぎの園
包：南部地域包括支援センター
山：山王の家

め：めいわ
は：はちす苑
か：ワークショップかぶらぎ
児：児童センター・学童
後：後援会「愛の灯台基金」

リ：リホープ
ア：アシスト
ジ：ジョーの家
地：南部地域福祉センター

11月 17日 地域食堂ともいき(お弁当販売)
18日 千葉県指導監査
25日 メンター情報交換会
27日 理事会
12月 1日 次年度職員採用試験
1日 労務管理者研修
3日 中堅職員研修
11日 評議員会
15日 地域食堂ともいき(お弁当販売)
1月 7日 新入職員懇親会
13日 後援会主催小学校5校書初め展
13日 佐倉市長来訪
14日 次年度職員採用試験
21日 財務研修
22日 理事会
26日 地域食堂ともいき(お弁当販売)
27日 メンター交流会
2月 16日 地域食堂ともいき(お弁当販売)

3月 4日 会計巡回審査
16日 地域食堂ともいき(お弁当販売)
19日 理事会
27日 評議員会
4月 1日 辞令交付式
1日 新任職員研修(4日、5日)
20日 地域食堂ともいき(お弁当販売)
5月 18日 地域食堂ともいき(お弁当販売)
19日 採用後1年面接(～20日)
24日 監事監査
28日 第10回実践発表会
31日 監事監査
6月 11日 Aikoh フォーラム「ケアニン」上映会(～12日)
11日 理事会
15日 地域食堂ともいき(お弁当販売)
15日 次年度職員採用試験
26日 評議員会

2022年秋まつり 中止のお知らせ
例年10月に開催をしております愛光秋まつりですが、感染症拡大の現状を鑑みまして、今年度も中止させていただくこととなりました。楽しみにされていた方々には大変申し訳ございません。

編集後記

愛光の隣にある佐倉南図書館より、昨年末にデジ図書貸し出しのテスト運用のお話をいただき、喜んで参加しました。毎月、新刊目録を届けていただき、気に入った本があれば連絡して、デジ図書にしてもらいます。今回、記事にさせて欲しいと取材にうかがったところ、新たに対面朗読のお話もいただき、読書バリアフリー法についても知ることができました。コロナ禍で外に出る機会が減ってしまった利用者の楽しみが、地域の方々の力を借りて新たな形で広がってきたことを嬉しく思います。(稲垣)

編集委員

稲垣直子(委員長)/林拓也(総務部)/関谷篤史(めいわ)/小川海星(はちす苑)/斎藤瑞希(ルミエール)/佐藤友里恵(リホープ)/藤山明子(南部包括)/椎名豊(ワークショップかぶらぎ)イラスト協力：平野美幸(学童保育所)

2022年(令和4年)9月16日発行

社会福祉法人 愛光
発行人 西原 弘明
編集人 広報委員会
〒285-0807千葉県佐倉市山王 2-37-9
TEL.043-484-6391
FAX.043-484-6396
E-MAIL mail@rc-aikoh.or.jp
U R L https://www.rc-aikoh.or.jp
印刷：ワークショップかぶらぎ